

# セメンテックス VF-AR 施工要領

## 1. 下地処理

施工面の浮き部、ひび割れ部、鉄筋露出部やその周辺の脆弱部をはつり取り、露出鉄筋の錆やはつり面の塵埃、レイトンス等をサンダー及び高圧水洗浄で除去して下さい。

露出鉄筋の防錆処理が必要な場合は、別途、事前に処理して下さい。

## 2. 材料の混練り

・標準配合・使用量

品名	入れ目・荷姿	標準配合水	粉体使用量	施工可能面積
セメンテックス VF-AR	20kg/袋	2.4~2.8 ㎖/袋	36kg/m <sup>2</sup> (30mm 厚)	約 0.5m <sup>2</sup> /袋
			72kg/m <sup>2</sup> (60mm 厚)	約 0.27m <sup>2</sup> /袋

- ・はじめに混練用容器(ペール缶など)を用意し、最低限度の標準配合水(2.4 ㎖)を投入して下さい。
- ・次に材料を少しずつ加えながら、ダマができないようにハンドミキサーで3分間、丁寧に練り上げて下さい。
- ・必要に応じて、標準配合水の範囲内で作業目的に応じた粘度に調整して、ご使用下さい。
- ・材料の可使時間は、夏季30分、標準60分程度を目安として、その時間内に使い切れる量を混練して下さい。

## 3. 塗り付け作業

- ①下地施工面を適度に水湿して、湿潤状態にしてから塗り付けを行って下さい。  
\* 下地コンクリートの吸水が激しい箇所では、吸水調整材(ファインコートP)を塗布して下さい。
- ②下地に良くなじむように材料を十分にこすり付けて下さい。
- ③1回あたりの塗り厚は平面部 20mm、欠損部で 40mm 程度を限度として下さい。
- ④塗り重ねる際は、指触硬化(指の押し跡が残らない程度の硬化)した後、次の層を塗り重ねて下さい。
- ⑤施工後は、直射日光などによる急激な乾燥を避けるよう注意して下さい。また、厳寒期には凍結対策として防寒養生を行って下さい。

## 4. 使用上の注意事項

- ・気温 3℃以下、降雨、降雪、降霜が予想される場合は、施工を避けて下さい。
- ・材料は直射日光を避け、雨の当たらない湿気の少ない場所で保管して下さい。
- ・混練りは、清水を使用して、ハンドミキサーにて3分以上十分に材料に粘りが出してから施工して下さい。
- ・本商品は、強いアルカリ性を示しますので、皮膚に触れたりした場合、水で洗い流して下さい。